

今週の大阪・関西万博 **週報** (1/21~1/27)
～ 開催まで あと **75** 日です! ～



©Expo 2025

1. 特集「万博の見どころ」

今週のピックアップ!

カーボンニュートラル最先端技術が会場に大集結

- 大阪・関西万博の会場では、カーボンニュートラル社会を実現する最先端技術の数々が一堂に集結。
- 水素発電の電気供給、薄くてまがるペロブスカイト太陽電池の大型実証、CO2を吸い込むコンクリート、CO2を食べる細菌など最先端のGX技術を一挙に確認できるのは万博会場だけ。

(参考) <万博60秒解説>「カーボンニュートラル最先端技術が会場に大集結」

<https://journal.meti.go.jp/p/36734/>



《もっと知りたい方へ》 (今週の「万博60秒解説」から)

■ ロボット×AIと共生する未来社会を感じよう(1/22 掲載)

- ・アンドロイドが人間のチカラを「拡張」する?
- ・ロボットが実現する豊かな社会

<https://journal.meti.go.jp/p/36717/>



■ 会場で学べる「未来のヘルスケア技術」(1/27 掲載)

- ・「いのち輝く未来社会」の中核、ライフサイエンス
- ・PHR で一人一人に特化した特別なサービスを。
- ・未来の医療・介護のあり方は?

<https://journal.meti.go.jp/p/36944/>

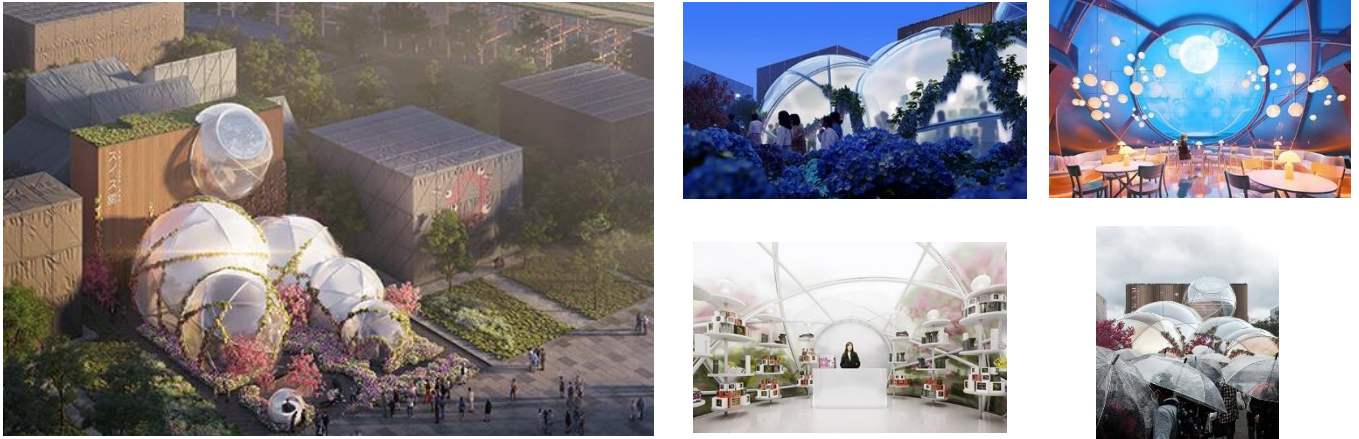


2. 特集「海外パビリオン探訪」

今週のおすすめセレクション

※ 経済産業省担当が独断で選ぶオススのパビリオンのご紹介です

① スイス



- エコロジカル・フットプリント(人類が地球環境に与えている「負荷」)を最小化すべく設計。気候変動や高齢化など人類共通の課題への解決策を探求する対話型プログラムを通じ、豊かな未来とは何かを問う。
- 公式キャラクターは、アルプスの少女ハイジ。館内に併設される「ハイジ・カフェ」では、ラクレット、仔牛のクリーム煮、チョコレート・フォンデュなど、スイスの食文化が味わえる。ナショナルデーは 4/22(火)。

② 北欧共同館(アイスランド、スウェーデン、デンマーク、ノルウェー、フィンランド)



- 「ノルディック・サークル(Nordic Circle)」と命名された北欧5カ国の共同館。北欧の価値観や持続可能性を体現したパビリオン。屋上のレストランでは、北欧5カ国の特色ある料理を味わえる。
- ナショナルデーは、デンマークが 4/24(木)、スウェーデンが 5/14(水)、アイスランドが 5/29(木)、ノルウェーが 6/2(月)、フィンランドが 6/12(木)。

③ インドネシア



- 「船」をモチーフにしたパビリオン。世界最大の群島国であるインドネシアの島々を行き交いながら醸成された豊かな自然や文化、新首都建設など国家の未来に向けた取組もあわせて紹介。
- ナショナルデーは 4/25(金)。公式キャラクター TUMTUM(トゥムトゥム) は緑、赤、青の3種類。

④ タイ



- 豊かさの象徴「象」と資源有効活用の象徴「木材」によって構成されたパビリオン。様々な分野の「知識(プーミ)」とタイのアイデンティティを意味する「プーミピマン」をコンセプトに、「タイの叡智」、「タイの医療とウェルネス」、「免疫力向上商品のラボ」の3つの区画が来場者を迎える。
- ナショナルデーは 4/26(土)。公式キャラクターの BHUMI-JAI(プーム・ジャイ) は4つの耳と5つの目を持つタイの幻獣「シーフーハーター」がモチーフ。

3. イベント情報（開催日時：4/20～4/26）

今週に「2ヶ月前予約抽選」の受付が開始されたイベント（※印で注記）を中心に、開幕第2週（4/20（日）－26（土））に会場内で予定される主なイベントを紹介します。

□ EXPO KYOTO MEETING ～和のこころと地球の未来～ ※2 か月前抽選対象

- 開催日：4/23
- 場所：EXPO ホール「シャインハット」
- 万博のテーマである「いのちがやく未来社会のデザイン」と、京都が特色を持つ「文化・環境」「産業」「観光」「地域」をテーマとしたカンファレンスを実施。



□ 煎茶道はここから始まった！－ 花月菴流お茶席体験 ※2 か月前抽選対象

- 開催日：4/26-27
- 場所：ギャラリー EAST
- 日常生活にも役立つ、美味しいお茶の正しい淹れ方と飲み方を学び、美しい所作と礼儀作法を身につけることが可能。



□ 残響 ZANKYO: グローバル三味線エンターテイメント

～日本の'伝統と今'を宿し、そして世界へ。

- 開催日：4/20
- 場所：ポップアップステージ 南
- 三味線、ヴァイオリン、カホンなどさまざまな文化背景や音の要素が調和。三味線音楽と世界をつなぐ未来思考のエンターテイメント。



□ 宇原獅子舞

- 開催日：4/20
- 場所：ポップアップステージ 南
- 伝統文化ポークラ賞を受賞した宇原獅子舞が、世界に誇る「梯子（ハシゴ）獅子」を披露。



□ 届け世界へ絆の調べ 響け心に竹の音色

- 開催日：4/20
- 場所：ポップアップステージ 東外
- 世界文化遺産のインドネシア民族楽器アングロンの演奏から、人々がつながっていくこと、時がつながって続くこと、世界がつながって広がっていくことを伝える竹の音色コンサート。



□ スペシャルナイト バブルショー

- 開催日: 4/21
- 場所: EXPO アリーナ「Matsuri」
- シャボン玉のギネス世界記録保持者が総合演出・監修。100万個のシャボン玉が夜空に舞い、ライティングと音響を駆使した圧巻のバブルショー。



□ 日本刀展 THE SAMURAI SWORD

- 開催日: 4/21～4/25
- 場所: ギャラリー EAST
- 鎌倉時代から現代までの刀を展示、現代の刀鍛冶による銘切りを実演。



©日本美術刀剣保存協会大阪支部

□ Japan Expo Paris in Osaka 2025

- 開催日: 4/26～4/27
- 場所: EXPO アリーナ「Matsuri」
- 仏国パリの「Japan Expo」を逆輸入し、本国・日本で初開催。マンガやアニメなどの「ものがたり」から、伝統工芸や先端技術などの「ものづくり」まで、COOL JAPAN を再結集。



□ ひょうご国 HYOGO 産を世界に発信するプロジェクト 2025

- 開催日: 4/26～4/30
- 場所: ギャラリー WEST
- 兵庫県内5国それぞれの国(摂津／播磨／但馬／丹波／淡路)の産業や技術に注目。次代を担う各地のアーティストやクリエイター、職人をつなぎ、新商品の創出を通じてものづくりと携わる人たちの魅力を発信。



□ 藤村麻紀&チェレステ・F・メルクルズ A Cappella Concert

- 開催日: 4/26～4/27
- 場所: ポップアップステージ 東内
- 6人のプロフェッショナルヴォーカルグループの極上のアカペラステージ。



©Vo.藤村麻紀・みさき・ひろこ・ゆうすけ・かずみ・せいじ

□ ザ・オカムラ座

- 開催日: 4/26
- 場所: ポップアップステージ 東内
- 人が活きる未来を描く脚本家であり、働く環境に彩りを添える演出家である私たちが、自分が活きる舞台を創造。そして、社会に着せられた自分の殻を破り、ありたい自分を本気で演じる。



4. 関連する主な活動／発表

- 1/20(月)～24(木)、赤澤大臣は、スイス・ダボスにて開催された世界経済フォーラム年次総会(いわゆる「ダボス会議」)に参加。現地に集う世界各国の要人に、大阪・関西万博への来場を直接呼びかけ。併催サイドイベント(「ジャパンナイト」)では、宮田裕章プロデューサーがプレゼンテーション。万博の動画放映やグッズ配布なども行った。



ガン・キムヨンシンガポール共和国副首相
と赤澤大臣



セッション [Japan Navigates Uncertainty](#) の登壇者
(ブシ・マブーザ IDC 会長、橋本剛 MOL 代表取締役、ギデオン・ラックマン、ミロイコ・スパイチモンテ
ネグロ首相)と赤澤大臣

(写真提供)内閣府政策統括官(経済財政運営担当)国際経済担当



(写真提供)内閣府大臣官房政府広報室

- 1/21(火)、内閣官房(国際博覧会推進本部事務局)は、富山市で万博をテーマにしたシンポジウムを開催。伊東万博担当大臣、新田・富山県知事らが挨拶の後、富山県の魅力や伝統工芸の新たな可能性をテーマに、トークセッションを開催。万博に関わる富山県内の多くの関係者が登壇。



(写真提供)内閣官房国際博覧会推進本部事務局

- 1/24(金)、日本政府館の公式 Web マガジン「月刊日本館」において、日本館において展示予定の「火星の石」の特集記事を公開。「火星の石」は、どのように地球にたどり着いて、どのように採取して火星由来と判明したのか。万博で展示されるまでの偶然が幾重にも重なったストーリーを分かりやすく紹介。



火星隕石が私たちにささやく、宇宙
といのちのつながり



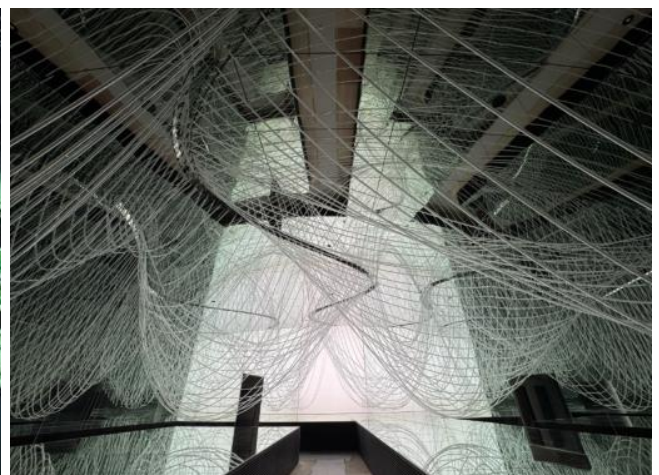
地球の兄弟星とも呼ばれる「火星」。太陽を中心とする太陽系の第4惑星で、地球のひとつ外側の軌道回っています。お隣といっても、お互いを隔てる距離は平均で2億キロメートル以上。最新ロケットでも、通り抜けるには何百日もかかってしまう計画です。そんなお隣の星から、地球へと届いた「石」と人間の奇跡的な出会いについてお話しします。



【出典】 <https://2025-japan-pavilion.go.jp/backissues/issue05/feature03/>



- 1/26（日）、日本政府館についてメディア向け内覧会を開催。会場内で出たゴミを回収して電力を生み出すバイオガス発電、掲示藻類に扮したハロー・キティ、藻をチューブで培養するフォトバイオリアクターなどの展示エリアの一部を紹介。日本館の魅力を発信。



(経済産業省職員撮影)

- 1/22（水）、バレーボール日本代表でサントリー・サンバーズ大阪に所属する高橋 藍選手が万博スペシャルサポーターに就任。

【高橋 藍（たかはし らん）さんプロフィール】

2001 年生まれ。京都府京都市出身。小学 2 年生からバレーボールを始め、東山高校 3 年時にはエースとしてインターハイ準優勝、国体優勝、春高バレーで優勝。2020 年にバレーボール男子日本代表へ初選出され、2021 年には東京 2020 オリンピックにも出場。2021 年に現役大学生ながらイタリアの 1 部リーグ・セリエ A でプレーし、2024 年からサントリー・サンバーズ大阪で活躍。



【出典】<https://www.expo2025.or.jp/news/news-20250122-03/>



- 1/20（月）、内閣官房事業「EXPO スクールキャラバン」の一環で、新居浜市立大生院中学校（愛媛県）にて池坊 専好 シニアアドバイザーが出前授業を実施。ひとつひとつの花の個性を尊重し、調和や多様性を大切にしている「生け花」について説明。同じく多様性を大事にする万博の魅力も発信。



（写真提供）内閣官房国際博覧会推進本部事務局

5. 今週以降の主な予定

□ 1/28(火)、国際博覧会推進本部(第9回)@総理大臣官邸

□ EXP0 スクールキャラバンの当面の実施スケジュール等

日時	学校名(事業者名)
2025/01/28(火)	尾道市立美木中学校(川崎重工)@広島県
	練馬区立練馬第二小学校(日本ガス協会)@東京都
2025/01/29(水)	南砺市立福野中学校(三菱大阪・関西万博総合委員会)@富山県
2025/01/30(木)	埼玉県立桶川西高等学校(きんでん)@埼玉県
	松山市立湯山中学校(CP コンクリートコンソーシアム 代表企業 安藤ハザマ)@愛媛県
	三豊市立勝間小学校(アサヒグループジャパン)@香川県
2025/01/31(金)	京都市立京都御池中学校(宮田 P)@京都府
	青森県立盲学校(三菱総研 DCS)@青森県
2025/02/03(月)	文京区立茗台中学校(リシュモン ジャパン株式会社 カルティエ)@東京都

※メディア受け入れ可能な学校のみ抜粋

<公益社団法人 2025 年日本国際博覧会協会のホームページはこちら>

<https://www.expo2025.or.jp/>

